

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第3区分

【発行日】平成19年8月9日(2007.8.9)

【公開番号】特開2006-21302(P2006-21302A)

【公開日】平成18年1月26日(2006.1.26)

【年通号数】公開・登録公報2006-004

【出願番号】特願2004-203681(P2004-203681)

【国際特許分類】

B 25 C 1/04 (2006.01)

【F I】

B 25 C 1/04

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月22日(2007.6.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

上下方向に延びる略円筒形状の胴体部と、

該胴体部から下方に延びる射出部と、

該胴体部から略側方に延びるハンドル部と、

胴体部上部に設けられる排気通路であって、該胴体部内と大気とを連通させる排気通路と、該排気通路を覆う排気カバーとを有する打込機において、

前記排気カバーは、金属製であり、該胴体部の上方から側方まで延びる略碗形状し、さらに前記排気カバーの端部が前記胴体部外側に突出しないことを特徴とする打込機。

【請求項2】

該排気カバーと該胴体部との間に、弾性体からなる緩衝部材を有することを特徴とする請求項1記載の打込機。

【請求項3】

上下方向に延びる略円筒形状の胴体部と、

該胴体部から下方に延びる射出部と、

該胴体部から略側方に延びるハンドル部と、

胴体部上部に設けられる排気口と、

該排気口を覆う排気カバーと、を有する打込機において、

該排気カバーと該胴体部との間に、弾性体からなる緩衝部材を有することを特徴とする打込機。

【請求項4】

該胴体部と該排気カバーとの間には、該排気通路と連通する空間である膨張室と、該膨張室から大気に連通する排気口とが設けられ、該緩衝部材は、該膨張室の周囲において締め代をもって挟まれるように設けられることを特徴とする請求項2又は3のいずれかに記載の打込機。

【請求項5】

該緩衝部材は、該膨張室と対向する部分において貫通する第1の穴部を有することを特徴とする請求項4記載の打込機。

【請求項6】

該排気カバーは、該胴体部と当接する取付け座部を有し、該排気カバーと該胴体部とは、

該取付け座部においてボルトによって連結されることを特徴とする請求項 2 乃至 5 のいずれか一に記載の打込機。

【請求項 7】

該緩衝部材は、該取付け座部と係合する第 2 の穴部を有することを特徴とする請求項 6 記載の打込機。